

宮城県白石工業高等学校 志教育 実践例

さんフェア宮城2018への参加



5科それぞれが個性豊かなものづくり体験コーナーの運営を行いました。
例えば機械科は機関車の試乗会を行い、多くの方に喜んでいただきました。

木製おもちゃを地域へ寄贈



建築科では課題研究において、近隣の児童向けに木材を活用した玩具製作に取り組んでいます。
約半年間をかけて生徒が設計・製作した玩具を、近隣幼稚園・保育園の児童たちに直接手渡しました。

こけし村リノベーションアイデアの提案



白石市からの依頼で、こけし村のリノベーション案を提案しました。その結果、考えたアイデアが取り入れられ、6月に落成式が行われました。

ピカボードを製作し、名取駅に設置



電気科では、課題研究で尚絅学院大学と連携してピカボードを製作しています。
製作したピカボードは、多くの方に楽しんでもらえるよう名取駅に展示しました。

吹奏楽部による地域行事への参加



吹奏楽部は、地域からの要望を受け、農業祭や白石城下町コンサートなどさまざまなイベントに参加しています。

白石城ロックフェスティバルの運営



白石市内の高校生が実行委員となって、白石城を舞台にロックフェスティバルを開催・運営しました。

白石市こどもまつりボランティアへの参加



白石市こどもまつりでボランティアとして、体験コーナーや運営補助を行いました。

生徒会・委員会などによる地域のゴミ拾い



生徒会、委員会や部活動単位で、通学路や地域のゴミ拾いを定期的に行っています。

全国こけしコンクール



各工業部がものづくり体験コーナーの運営を行いました。

白石駅前盆踊へのボランティア参加



工業化学部が駅前盆踊りで体験コーナーの運営を行いました。

インターンシップの実施



7月に2年生全員を対象にし、専門学科毎に2～3日間で実施しました。受け入れ協力事業所数は、69社で製造業を中心に多くのご協力をいただきました。

県民開放講座



機械科が担当し、“金属を「とくして」「かためて」ものづくり”のテーマのもと、開放講座を開催しました。

マナーアップキャンペーンへの参加



生徒会の生徒が参加し、5月と10月に白石駅でJR・白石警察署と連携して、マナーアップを呼びかけました。

卒業生講話や社会人講話の実施



卒業生から「在校時の自分と社会人としての自分」や「後輩に向けてのアドバイス」をテーマに講話をしていただきました。

クラフトマン21事業およびマイスター制度の活用



外部講師による技能指導を全15プログラム実施しました。高度で専門的な指導を受け、社会に通用する力を身に付けることができました。

白石市防災避難訓練への参加



防災委員が参加し、物資の配布や避難誘導補助などの役割を積極的に果たしました。